

[10月 外来医師一覧表]

新/新規患者 再/再来患者

診療科		月	火	水	木	金	
整形外科(要予約)	新	安藤 卓(第1・2・3・4週) 有村 仁志(第5週)	立石 慶和	大野 貴史(第1・3・5週) 有村 仁志(第2・4週)	上川 将史	平井 奉博	
	再	安樂 喜久	上川 将史(第1・3・5週) 平井 奉博(第2・4週)	安藤 卓(第2・4・5週) 有村 仁志(第1・3週)	後生川 輝(第1・3・5週) 内田 裕己(第2・4週)	立石 慶和(第1・3・5週) 大野 貴史(第2・4週)	
腎臓科	新・再	—	AM:三浦 玲 PM:山村 遼介	江口 剛人	板井 陽平	早田 学	
【透析シャント専門外来】	新・再	副島 一晃	—	—	—	—	
ロボット 専門外来	前立腺・腎	新・再	渡邊 紳一郎	—	—	渡邊 紳一郎(第2週)	
	呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	—	
	総合腫瘍科	新・再	坂本 快郎	—	高橋 英徳	田中 秀幸	
	心臓血管外科	新・再	—	—	—	押富 隆	
泌尿器科(要予約) ※福井医師・三上医師・占部医師・ 富永医師も「ロボット手術」に 対応しております	新・再	渡邊 紳一郎 尾崎 陽二郎(第1・3・5週) 大井田 奈穂(第2・4週)	福井 秀幸	占部 裕巳	三上 洋	富永 成一郎	
【がん薬物療法】	新・再	—	—	—	—	福井 秀幸 町田 二郎	
心臓血管外科	新・再	—	上杉 英之	出田 一郎	押富 隆	佐々 利明(第1・3・5週) 高志 賢太郎(第2・4週)	
【下肢静脈瘤専門外来】	新	担当医(第1・3・5週)	—	—	—	—	
循環器内科	新・再	担当医(第2・4週) 坂本 知浩 劔 卓夫 井上 雅之 根岸 耕大	田中 靖章 奥村 謙 由布 哲夫 市丸 直美	兒玉 和久 岡松 秀治 堀尾 英治 山田 雅大	山室 恵 奥村 謙 吉村 あきの 神波 裕	田口 英詞 古山 准二郎 鈴木 寛人 堀端 洋子	
【デバイス/遠隔モニタリング外来】	再	—	—	—	担当医	—	
【LVAD外来】	再	—	—	兒玉 和久(第2週) 岡松 秀治(第4週)	—	—	
呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	隈元 清仁	—	
呼吸器内科 ※全医師が「COPD専門診療」に 対応しております	新・再	一門 和哉 関戸 祐子 阿南 圭祐	保田 祐子 神宮 直樹 西山 健太	一門 和哉 村中 裕之(第1・3・5週) 飯尾 美和(第2・4週) 中村 和憲	保田 祐子 川村 宏大	坂田 能彦 仁田脇 辰哉 久永 純平	
【がん薬物療法】	新・再	坂田 能彦	坂田 能彦	川村 宏大 坂田 能彦(第1・3・5週) 神宮 直樹(第2・4週)	神宮 直樹	—	
糖尿病内科	新・再	松尾 靖人	星乃 明彦	松尾 靖人	星乃 明彦	星乃 明彦(第1・3・5週)	
脳神経外科 ※全医師が「未破裂脳動脈瘤 専門診療」に対応しております	新・再	天達 俊博	山城 重雄	山村 理仁	上田 隆太	加治 正知	
脳神経内科	新・再	稲富 雄一郎	米原 敏郎	長尾 洋一郎	永沼 雅基	米原 敏郎	
外科	新・再	藏元 一崇	松本 克孝 稲尾 瞳子	高森 啓史 辛島 龍一	富安 真二郎 伊東山 瑠美	新田 英利	
消化器内科(要予約)	新・再	工藤 康一 古川 歩生 吉田 健一	山邊 聡 近澤 秀人 上原 正義	須古 信一郎 上川 健太郎 AM:前田 大樹 PM:江口 洋之	浦田 淳資 近澤 秀人 糸島 尚	上原 正義 後藤 健太 今村 治男	
総合腫瘍科	がん薬物療法	新・再	小田 尚伸 森北 辰馬 高橋 英徳	小田 尚伸 森北 辰馬	小田 尚伸 森北 辰馬	森北 辰馬 坂本 快郎	小田 尚伸 森北 辰馬
	放射線治療	—	松山 圭矢(新患)	松山 圭矢(再診)	松山 圭矢(新患)	松山 圭矢(再診)	松山 圭矢(新患)
	ガンマナイフ	新・再	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明
	がんゲム外来	新・再	—	—	—	小田 尚伸	—
	遺伝カウンセリング	新・再	—	佐々木 瑠美	—	—	—
	緩和ケア外来	新・再	金光 敬一郎	—	金光 敬一郎	金光 敬一郎	—
精神腫瘍外来	新・再	窪 文彦	窪 文彦	—	窪 文彦	窪 文彦	
総合腫瘍外来	新・再	坂本 快郎	—	高橋 英徳	—	田中 秀幸	

※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。

[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

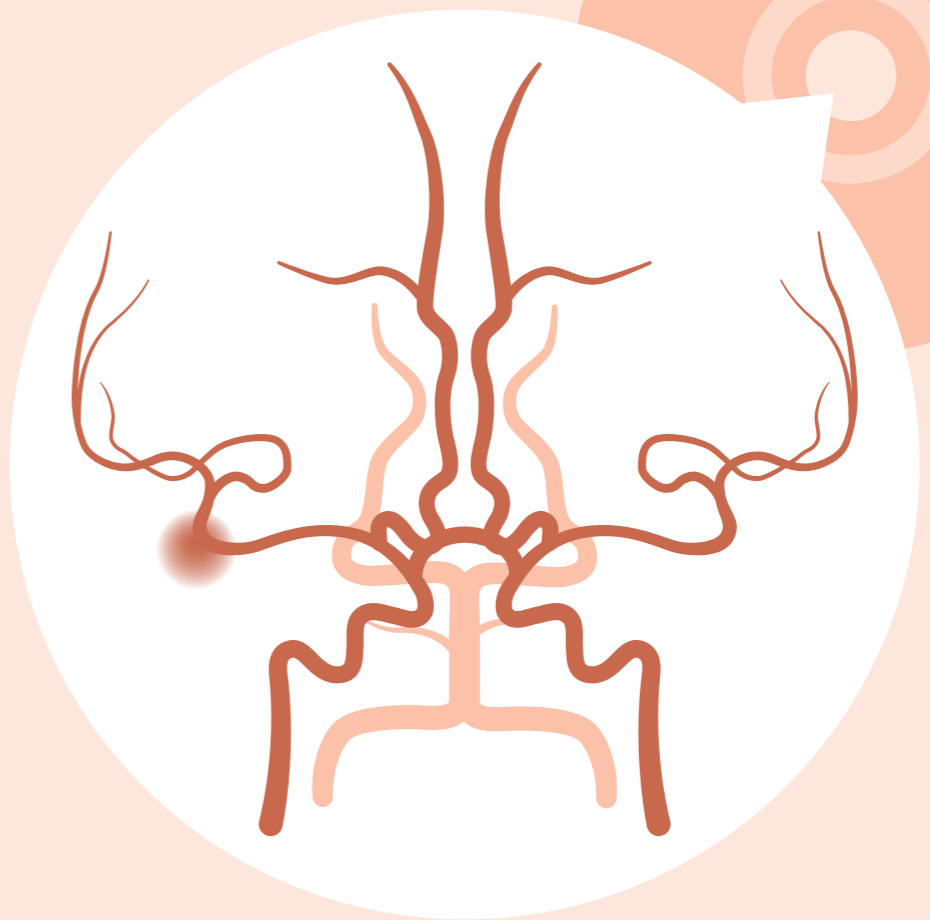
vol.62

2021. September

s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

未破裂脳動脈瘤も 「血管内治療ファースト」の時代に



紹介に悩んでおられる地域の先生方へ

CD-Rをお送りいただくと、
脳神経外科にて確認し、概ねの治療適応を回答いたします。

※患者さんの受診は不要です



悩ましい症例がございましたら、
まずはご相談ください

脳神経外科部長 山城 重雄

近年、医療の多くの分野で低侵襲治療、すなわち切らないで治す、あるいは小さい傷で治すような治療が普及しています。脳動脈瘤の治療でも、頭を切らずにカテーテル治療で治すコイル塞栓術が全国に普及しました。私たちはこれまで多くの「未破裂脳動脈瘤」の手術(クリッピング術)治療に携わり、その治療成績は悪くありません。

しかし、患者の身体的負担が軽い血管内治療(コイル塞栓術)は、大変魅力的な治療法です。私たちは2020年より、脳動脈瘤の治療に関して、血管内治療(コイル塞栓術)を中心に考える方針としました。もちろん、今でも手術(クリッピング術)がよいとされる脳動脈瘤も存在します。

済生会熊本病院脳神経外科は、これまでの多くの経験や実績を活かし、患者さんとじっくり相談しつつ、治療が必要か、どの治療が良いかなどの疑問や不安の解消のお役に立ちたいと思っております。



治療適応・紹介に悩んでいらっしゃる地域の先生方へ

脳動脈瘤の治療適応基準について

当院はガイドライン遵守を徹底し、血管内治療(コイル塞栓術)を第一選択肢としております。患者さんの症例や年齢などで、治療適応や紹介に迷われている場合は、下記の通りご遠慮なくご相談ください。

相談方法



「簡単な紹介状」と「CD-R」をご郵送ください。
患者さんの受診・治療の可否を含めて検討し、ご返事させていただきます。

※当院受診が必要と判断された場合、貴院へ報告後に患者さんとの予約調整を開始いたします

ご不明な点がございましたら担当者までご連絡ください。

ご郵送・お問い合わせ先

- 済生会熊本病院 地域医療連携室
担当: 島本
- 📍 〒861-4193
熊本県熊本市南区近見5丁目3番1号
- ☎ 096-351-8372
(地域医療連携室 直通)
- 📠 096-351-8505
(地域医療連携室 直通)
- ✉ renkei-info@saiseikaikumamoto.jp

済生会熊本病院 脳卒中センターの方針転換 より患者さんに優しい「血管内治療ファースト」へ

当院の未破裂脳動脈瘤治療において、これまでクリッピング術に代表される開頭術をメインに実施して参りました。しかし、先述の通り医療の低侵襲化が進み、脳卒中領域でも血管内手術が主流となってきていることから、2020年7月より血管内治療(以下、コイル塞栓術)を脳動脈瘤治療の第一選択肢にする方針といたしました。

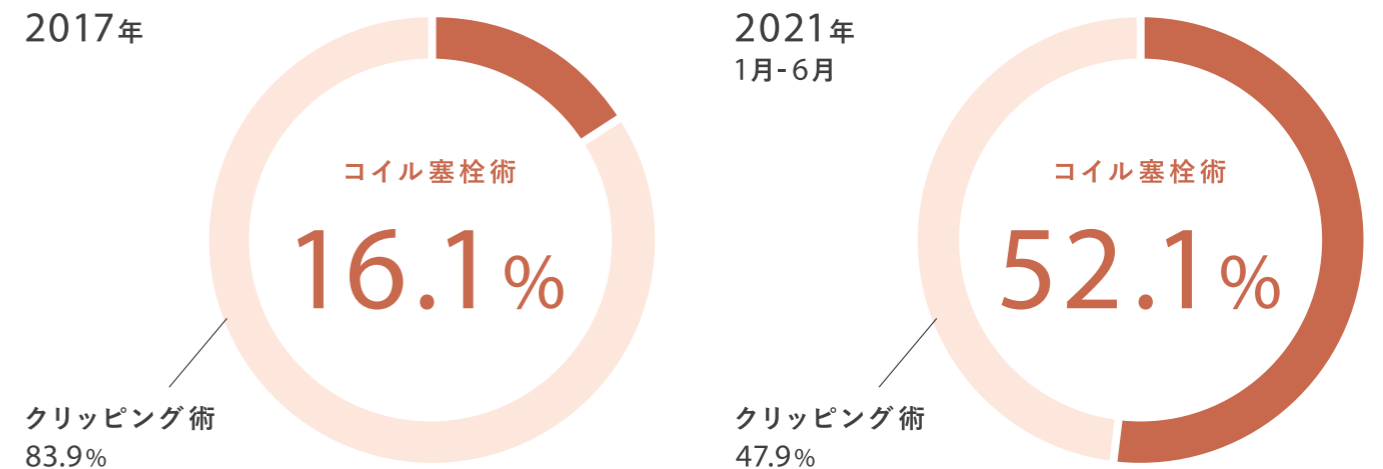
下記グラフの通り、コイル塞栓術を本格始動した2017年には当該治療の実施割合が16.1%だったのに対し、2021年上半期には52.1%まで上昇しております。

また、患者さんの病態によりコイル塞栓術で対応出来ない症例に対しては、これまで通り手技・周術期管理に関する院内ルールを厳守した、安全で確実なクリッピング術を実施しております。

当院はコイル塞栓術とクリッピング術の双方が施行可能な脳動脈瘤治療のハイボリュームセンターとして、これからも患者さんに最良な医療を提供いたします。

※脳神経外科の外来担当医は全員が「未破裂脳動脈瘤専門外来」の担当となっております

脳動脈瘤治療の手技割合 比較



コイル塞栓術とクリッピング術で比較する平均在院日数



対象: 2016年1月1日～2021年6月30日に当院にて対象手技を実施した症例